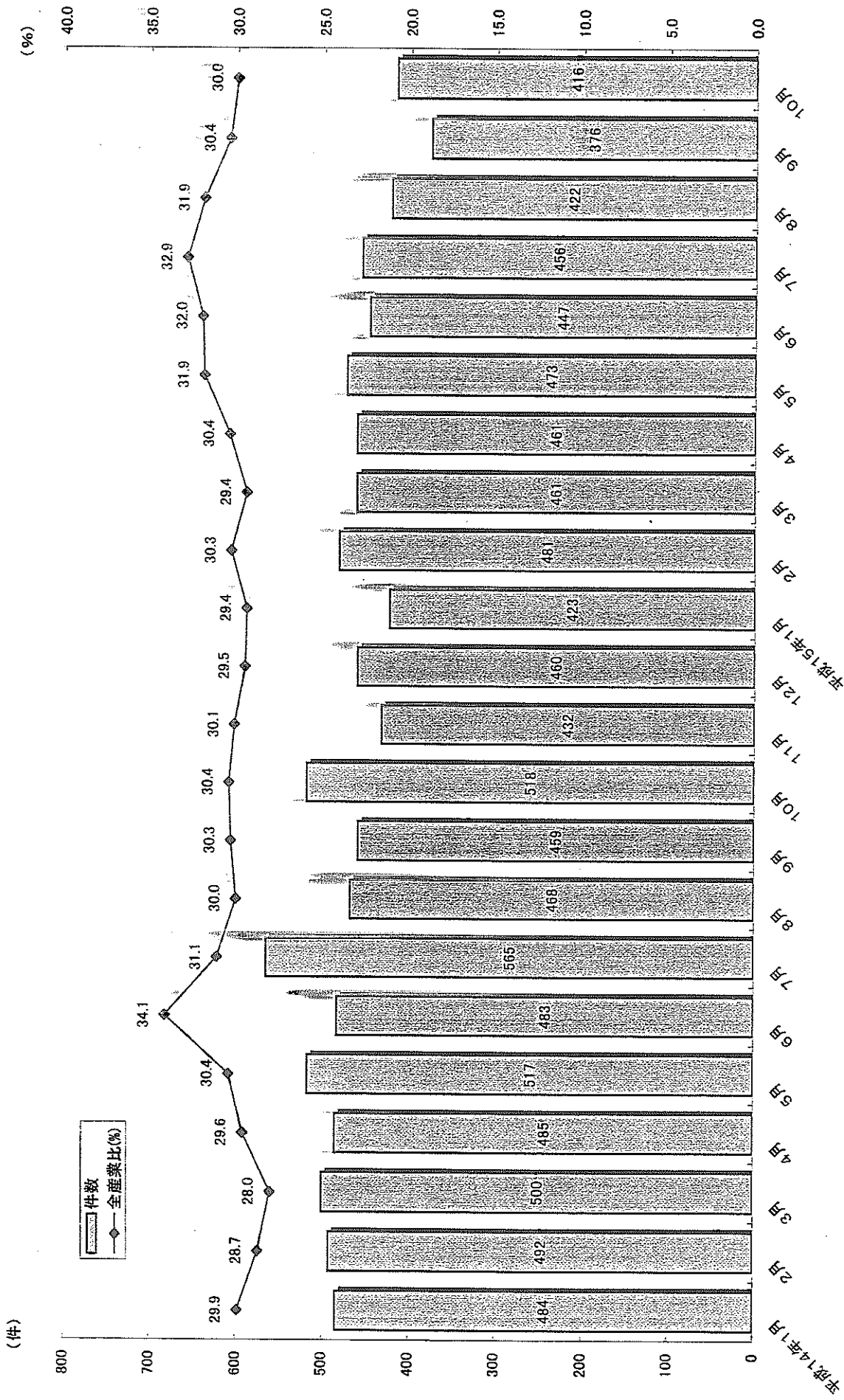


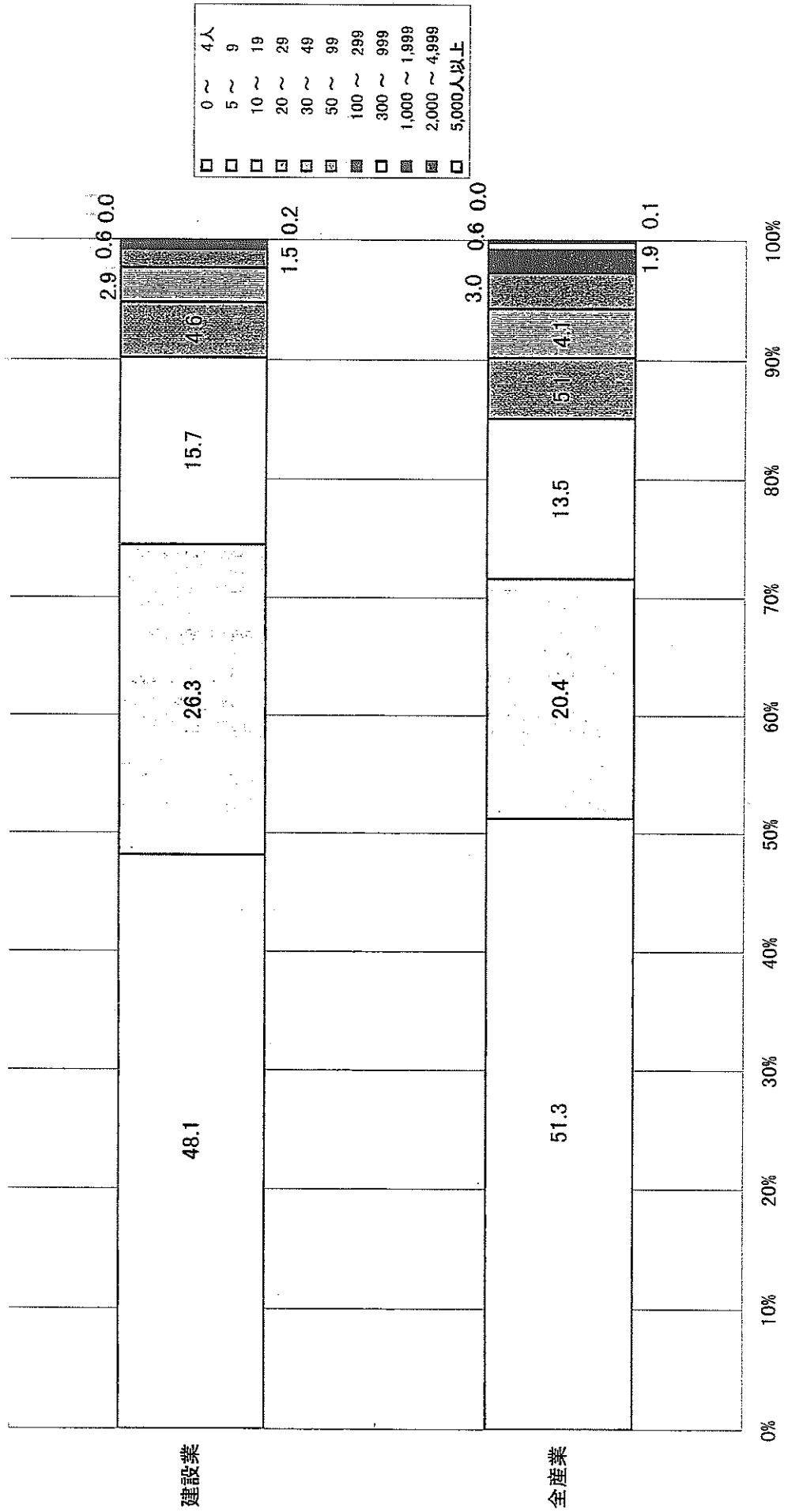
最近の建設業の倒産件数



資料出所：帝国データバンク

常用雇用者規模別企業構成比

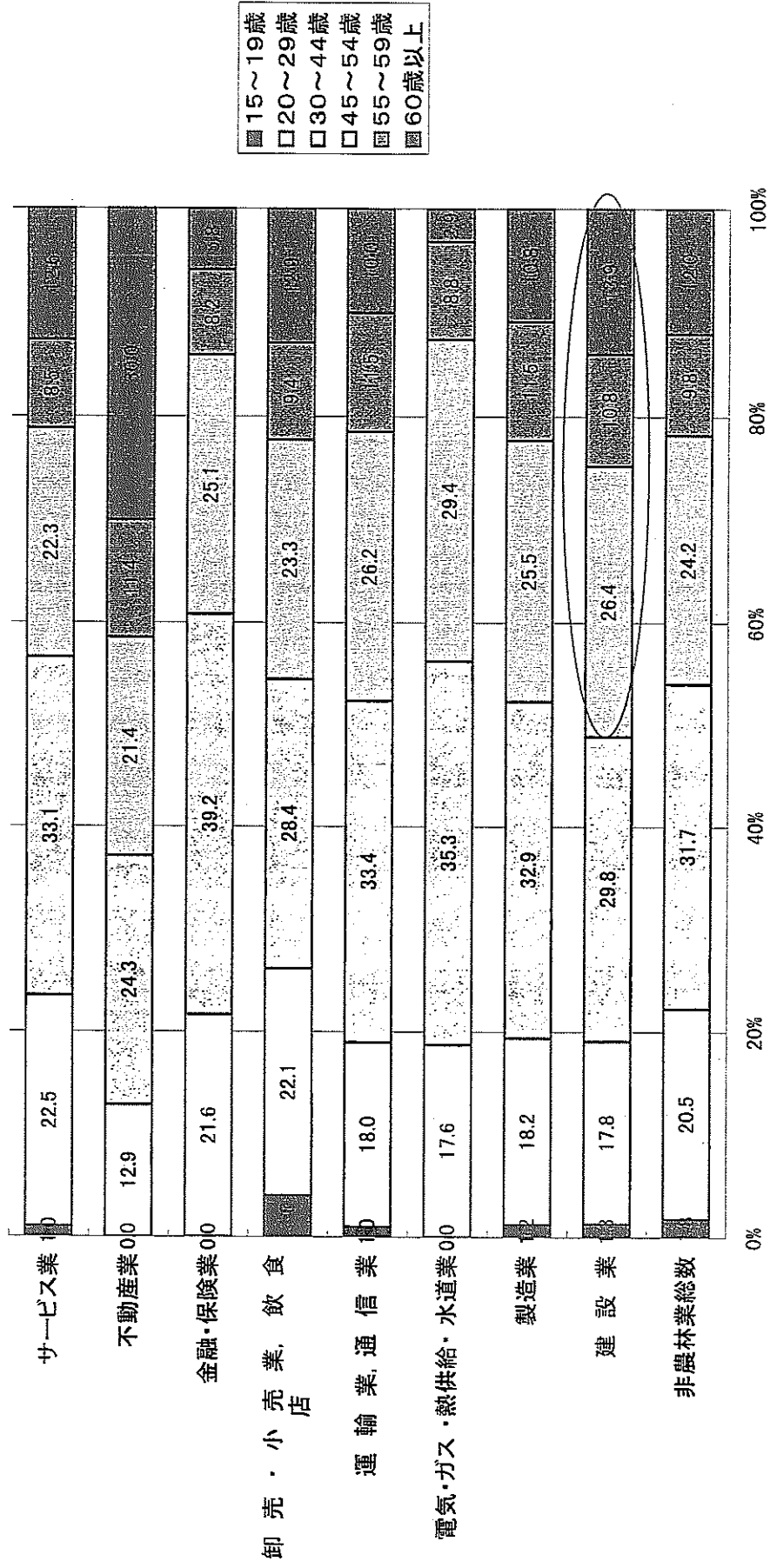
5～19人規模の企業数が多く、30人未満企業が約95%



資料出所：総務省「事業所・企業統計調査」(平成13年)

非農林業における産業・年齢階級別就業者の状況

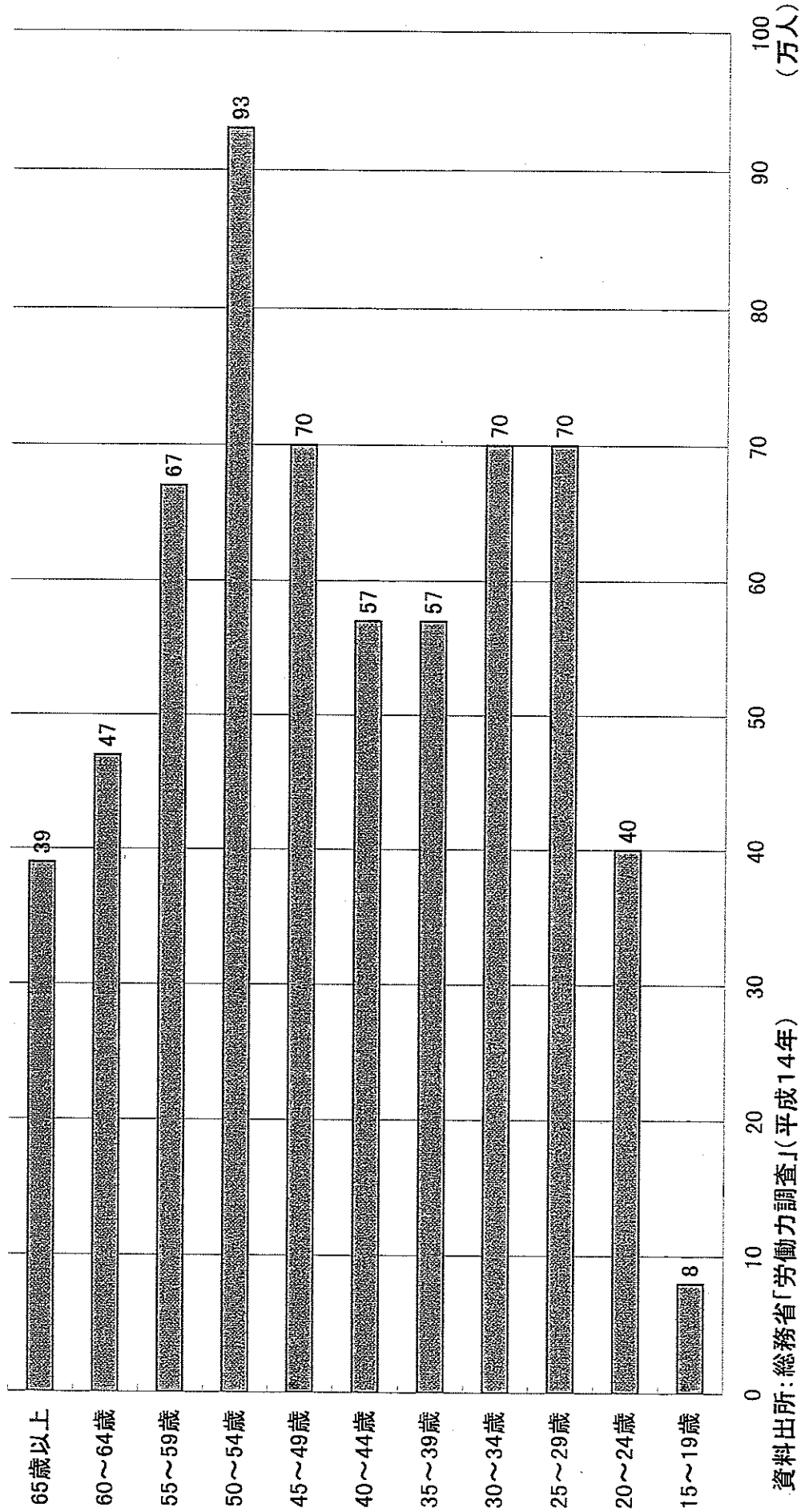
建設業では45歳以上が過半数を占め、就業者の高齢化が進展



資料出所：総務省「労働力調査」(平成14年)

建設業就業者の年齢階級別構成

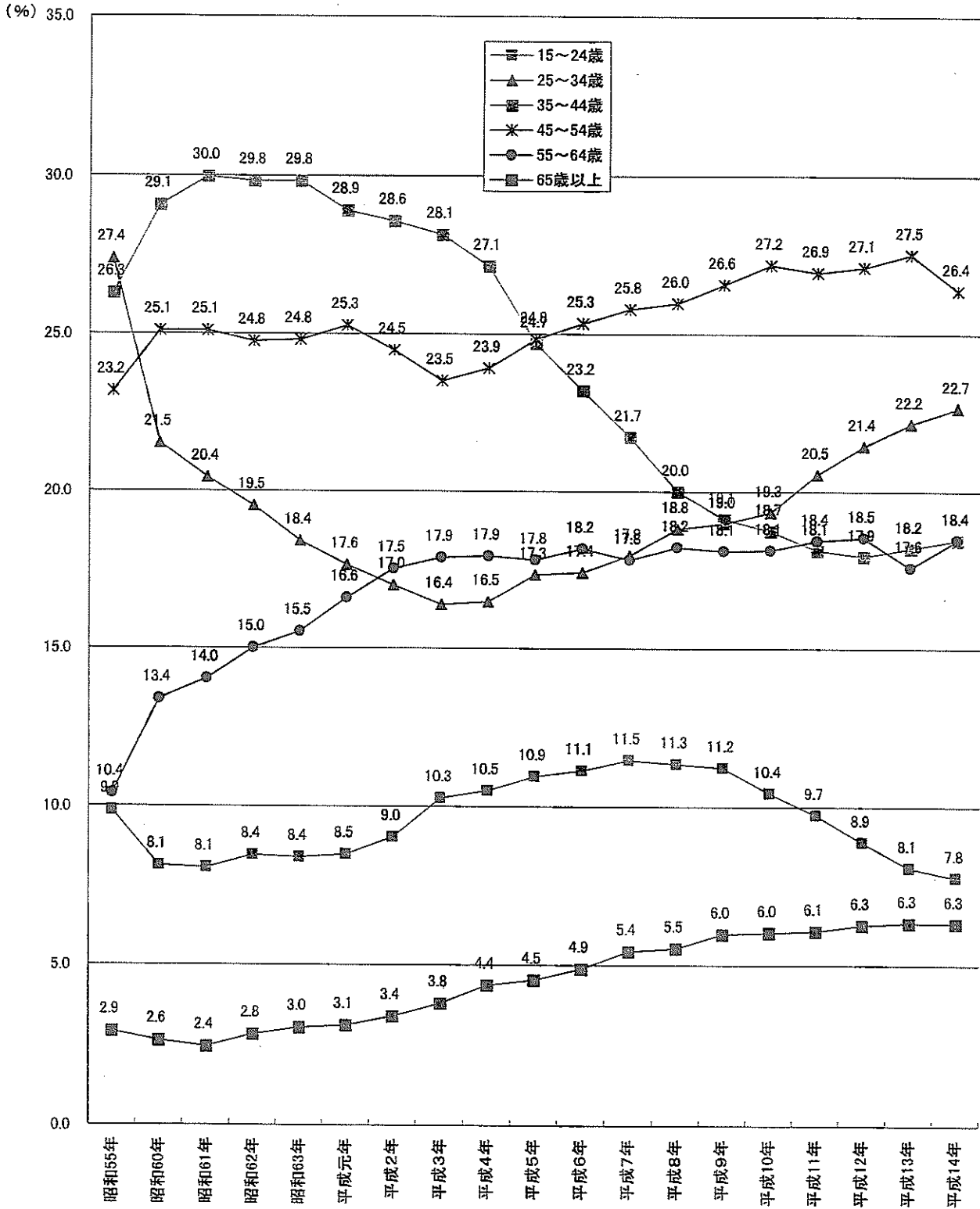
50～54歳層が最も多く、若年層は少ない



資料出所:総務省「労働力調査」(平成14年)

建設業就業者の年齢階級別構成比の推移

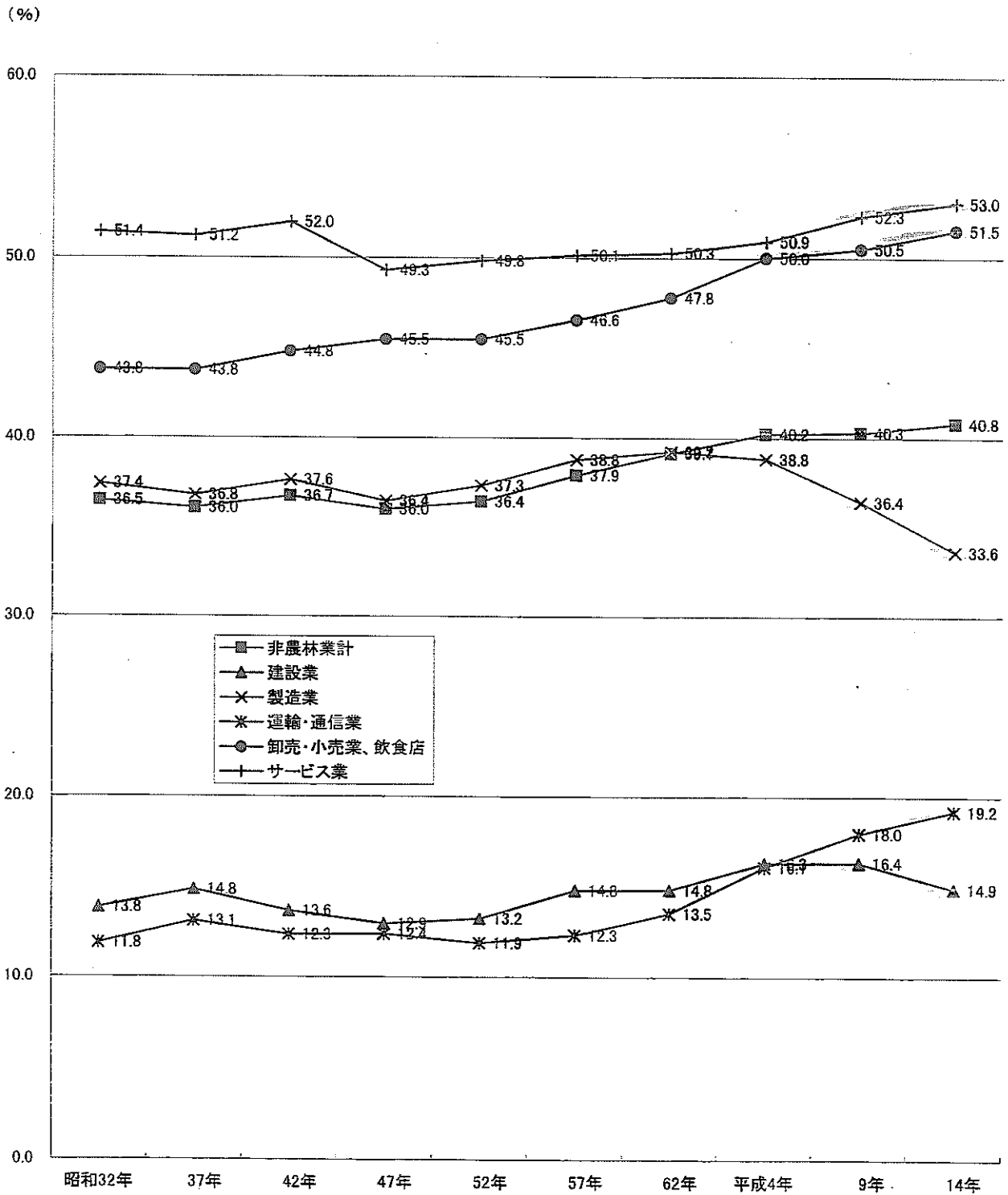
○ 65歳以上が増加傾向にあり中高年齢層が増加
 ○ 25～34歳が増加傾向にあるものの、35～44歳、15～24歳が減少傾向にあり若年層が減少



資料出所:総務省「労働力調査」

産業別女性就業者比率の推移

女性就業者の比率は低く、一時上昇傾向にあったが、最近ほ低下傾向



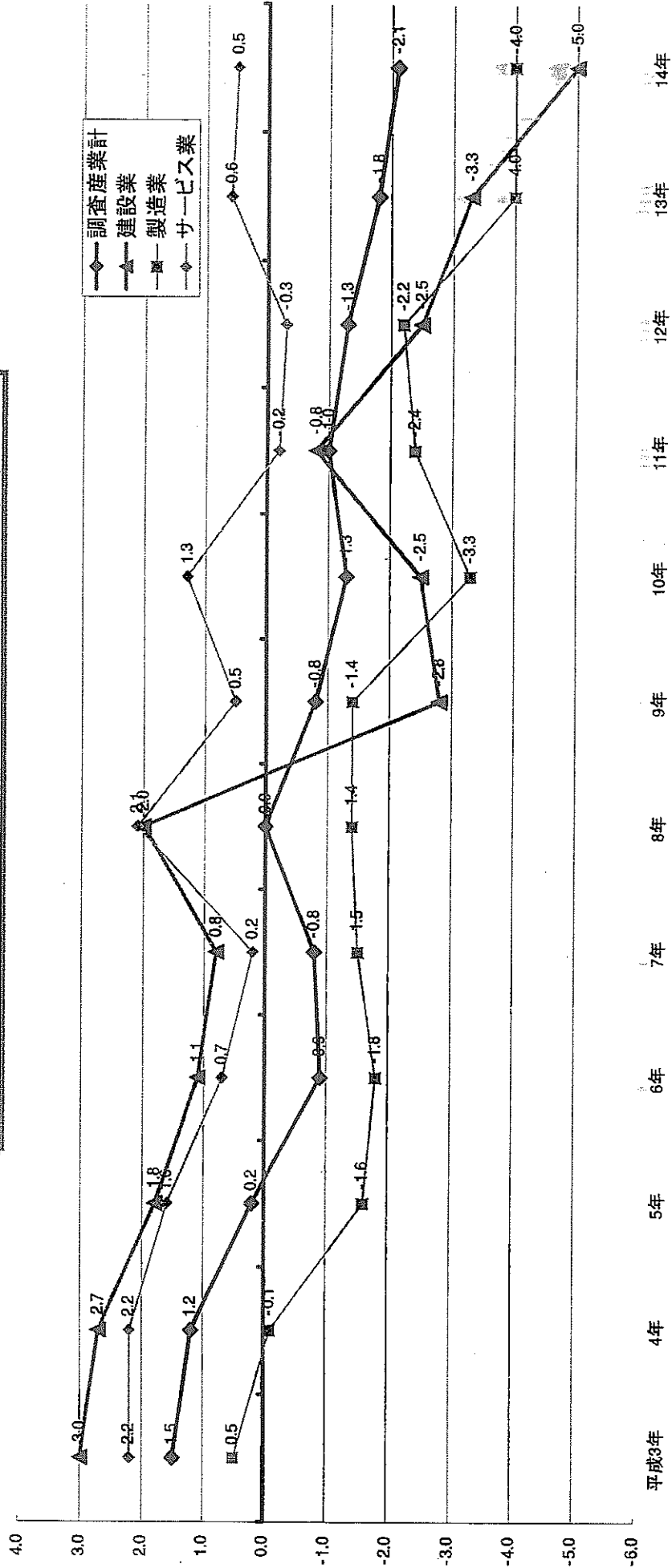
資料出所：総務省「労働力調査」

注 1) 年内月平均値による。

2) 59年以前の「運輸・通信業」には「電気・ガス・熱供給業・水道業」を、「卸売・小売業、飲食店」には「金融・保険業、不動産業」の数値を含む。

産業別入職超過率の推移

○ 建設業においては、平成9年以降離職超過の状態
 ○ 平成13年、14年とも入職超過はサービス業のみ



資料出所:厚生労働省「雇用動向調査」
 1~12月の入(離)職者数
 $\frac{1月1日現在の常用労働者数}{1月1日現在の常用労働者数} \times 100$
 注 1) 入(離)職率 =
 2) 入職超過率 = 入職率 - 離職率